



Amazon EC2への移行

Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

Amazon EC2への移行	1
VMwareワークロード移行アドバイザーを使用して、Amazon	
EC2のデプロイメントプランを作成します	1
オンプレミスのvSphere環境に基づいて展開計画を作成する	1
推奨されるFSx for ONTAPファイルシステムをデプロイします	3

Amazon EC2への移行

VMwareワークロード移行アドバイザーを使用して、Amazon EC2のデプロイメントプランを作成します

VMware移行アドバイザーにアクセスするには、NetApp Workload Factoryにログインします。ウィザードの手順に従って、ニーズに合わせてカスタマイズされた導入計画または移行計画を作成します。

Workload Factoryにアクセスするには、ユーザー名とパスワードが必要ですのでご注意ください。アクセス権をお持ちでない場合は、今すぐアカウントを作成してください。手順を確認してください["ここをクリックしてください。"](#)。

オンプレミスのvSphere環境に基づいて展開計画を作成する

オンプレミスのvSphere環境にある現在の仮想マシン構成をAmazon EC2の仮想マシンに移行し、カスタマイズされたAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムを外部データストアとして使用できます。

要件

- ["VMインベントリをアップロードしました"](#)が必要です。

手順

1. ["NetApp Console"](#)にログインします。
2. メニュー  を選択し、ワークロード > **VMware** を選択します。

計画センターが表示されます。

3. VMインベントリをまだアップロードしていない場合は、[*VMインベントリのアップロード*](#)を選択し、["VMインベントリデータをアップロードする"](#)の指示に従ってください。
4. リストからVMインベントリデータセットを選択し、そのデータセットの[*計画の開始*](#)メニューを開きます。
5. [*AWSネイティブコンピューティング*](#)を選択してください。

「AWSクラウドのオンボーディング準備」ページが表示されます。

6. 「VM構成のアップロード」セクションで、 を選択し、RVToolsで作成した.xlsxファイルを選択します。

[*データ収集の詳細*](#)セクションでは、Onboarding Advisorデータコレクターを使用して収集されたデータの期間と時間数が表示されます。

[*VMインベントリ概要*](#)セクションには、インベントリファイルからVMの数と総ストレージ容量が反映されます。

7. 「VMインベントリに関する考慮事項」セクションで、移行するVMのリストをフィルタリングするためのオプションを選択します。

- a. リージョン：Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムを導入するリージョンを選択します。最適なパフォーマンスとコスト効率を実現するには、通常、既存のAmazon EC2 SDDCがデプロイされているリージョンと同じリージョンを使用します。
- b. このリージョン内の仮想マシン（VM）の予測パフォーマンスレベルを選択してください。まずはIOPSの設定値を小さくすることをお勧めします。ファイルシステムが作成された後、ワークロードの移行やデプロイが行われるにつれて、プロビジョニングされたSSDのIOPSを増やすことができます：
- 標準から高性能：平均IOレートが20～5000 IOPSのVM向け。
 - 非常に高いパフォーマンス：平均IOレートが5000 IOPSを超えるVM向け。
 - 非常に低いパフォーマンス：平均IOレートが20 IOPS未満のVMの場合。
8. 「目標容量と保護に関する考慮事項」のセクションで、いくつかのストレージオプションから選択します。
- a. **VMストレージに関する考慮事項**：オンボーディングされた各VM用に作成されるデータストアのサイズを、現在使用されているサイズ（推奨）に基づいて決定するか、プロビジョニングされたサイズに基づいて決定するかを選択します。
- 外部データストアは、Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムボリュームを使用して実装されます。
- b. 平均データ削減比率：3つの一般的なデータ削減比率から選択します。「1：1 - 削減なし」、「1：1.25 - 20%削減」、または「1：1.5 - 33%削減」を選択します。
- どの比率を選べばよいか迷っている場合は、*Help me decide*を選択してください。_Data reduction ratio assistant_ダイアログが表示されます。お客様のVMインベントリおよびストレージ環境に該当する記述を選択してください。アシスタントが適切なデータ削減率を推奨します。推奨比率を使用するには、*Apply*を選択してください。
- c. ヘッドルームの割合：FSx for ONTAPファイルシステムの容量に追加される容量増加の割合を入力します。
- 20%未満の値を選択した場合、保護や長期バックアップのためのボリュームスナップショットを作成できないことに注意してください。
- d. **VMスナップショット保護**：スナップショットでVMを保護するには、このオプションを有効にします。
9. 「次へ」を選択します。
10. *スコープ*ページで、AWS移行に含めるVMをリストから選択します。各VMの電源状態、およびVMが存在するデータセンターとクラスタによってリストをフィルタリングできます。
- VM一覧では、列として表示するVM情報の種類を選択できます。たとえば、_推定インスタンスタイプ_を選択すると、VMのリソース要件に基づいて、各VMの推定Amazon EC2インスタンスタイプを示す列が表示されます。
11. 「次へ」を選択します。
12. *分類*ページで、VM情報、ボリューム分類ルール、ボリューム割り当て、および導入の一環として移行されるボリュームのリストを確認し、*次へ*を選択します。



ボリュームに、特定のリージョンのAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムの機

能を超える容量またはパフォーマンス要件がある場合、移行アドバイザーは、そのボリュームをAmazon EBSファイルシステムに導入することを推奨します。

13. *パッケージ*ページで、EC2インスタンスと、異なるFSx for ONTAPクラスターに割り当てられたボリュームを確認し、*次へ*を選択します。
14. *Review plan*ページで、移行予定のすべてのVMについて、月々の節約額とコストの見積もりを確認してください。

ページ上部には、FSx for ONTAPファイルシステムとEBSボリュームの月々の推定節約額が表示されます。各セクションを展開すると、推奨されるファイルシステム構成、推定節約額の内訳、前提条件、および技術的な免責事項の詳細が表示されます。

移行計画は、デフォルトでは計画センターの計画リストに自動的に保存されます。

移行計画に満足したら、いくつかの選択肢があります：

- 計画のダウンロード > レポートのダウンロード を選択して、導入計画を .pdf 形式でダウンロードし、レビュー用に計画を配布できるようにします。
- プランのダウンロード > インスタンスのストレージ導入のダウンロード を選択して、外部データストアの導入プランを.csv形式でダウンロードし、新しいクラウドベースのインテリジェントなデータインフラストラクチャの作成に使用します。
- 推奨されるAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムの導入を開始するには、*Provision*を選択します。

推奨されるFSx for ONTAPファイルシステムをデプロイします

推奨されるFSx for ONTAPファイルシステム（場合によっては複数のファイルシステム）がお客様の要件を正確に満たしていることを確認したら、Workload Factoryを使用してAWS環境にシステムをデプロイできます。

["NetApp Workload Factory で FSx for ONTAP ファイルシステムを作成します"](#) の指示に従って、Workload Factory が推奨する構成で FSx for ONTAP ファイルシステムをデプロイします。手順にある「高度な作成」のステップを使用すると、ファイルシステムを完全にカスタマイズできます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。